

# 平成25年度学校自己評価システムシート ( 県立浦和西高等学校 )

目指す学校像	自主自立の精神を生かして、国際社会で貢献できる人材を育成し、地域に信頼される進学校を目指す。
--------	--

重点目標	1 高い学力の定着と進路指導の充実 2 地域に開かれ、信頼される学校づくり 3 自己管理できる生徒の育成
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	10名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	13名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<p>進路希望を実現する生徒は年々増加傾向にある。しかし、安易に目標を下げてしまう生徒も多く存在する。</p> <p>そこで、一人でも多くの生徒が第一志望を実現できるように、系統的で組織的な進路指導体制を確立する必要がある。また、生徒が進んで自学自習できるような指導も必要である。</p>	徹底した学習で第一志望の実現。	<p>1. 生徒理解と授業力の向上</p> <p>2. 朝・放課後自習の奨励・長期休業中の補講等、学習合宿の計画的な実施</p> <p>3. 家庭学習時間の確保など自学自習の習慣をつけさせる指導 ・大学入試センター試験等への組織的な取組の充実</p>	<p>1. 保護者と連携を図りつつ個人面談が十分に実施できたか。 ・教員相互の授業観察数が確保され、授業改善に資することができたか。 ・生徒による授業評価が実施され、授業改善に反映されたか。</p> <p>2. 朝学習や計画的な補講等の実施ができたか。また、生徒の参加率や満足度は向上したか。</p> <p>3. 家庭学習時間や自学自習の時間が増加したか。 ・国公立大に現役で40名以上合格できたか。また、難関私大への合格者が増えたか。</p>	<p>生徒の志を高める指導及び第一志望実現に向けて成果を上げている。</p> <p>1. 校長による3年生全員面談、各学年学期に1回以上の保護者懇談会等を実施し、生徒理解を深めた。 ・教員一人当たり3.2回の相互授業観察を行った。(昨年比1.4倍) ・授業アンケートを2回実施した。教科会で結果を分析し、指導内容・方法等を検討した。</p> <p>2. 3年は通年で進学補講、1・2年は朝学習を実施した。長期休業中や土曜日に教室を開放し、学校で学習できる環境を設定した。</p> <p>3. 2ヶ月に1回の学習状況調査で各学年とも家庭学習時間が微増。 センター試験受験者過去最高96%(345/358名)、国公立大出願者前期100名。(6%増)国公立大合格者37名。(昨年度37名)難関私大19名。(昨年度24名)。GMARCH153名。(昨年度126名)。(3月24日現在)</p>	A
2	<p>地域に開かれた学校づくりは進んでいるが、信頼される学校になるためには更なる取組が必要である。</p>	80周年を来年に控え、学校をあげて地域に信頼される学校づくりを推進する。	<p>1. 生徒、保護者、地域、学校が一体となった広報活動の実施 ・小中交流事業の推進 ・学校説明会、土曜公開授業等の充実</p> <p>2. 西高づくり懇話会等の外部評価の活用</p>	<p>1. HP等を活用し、一体となった広報活動ができたか。 ・計画通り実施できたか ・入試倍率が増加したか</p> <p>2. 教育活動に提言が反映できたか。</p>	<p>地域に信頼される学校づくりを推進した。</p> <p>1. 県立学校への情報提供及び、HPを随時更新した。その結果、進学フェア1.5倍、学校説明会1.3倍、公開授業1.6倍に参加者数が増加。 ・大東小に加え、上木崎小とも交流、参加者も1.2倍に増加。大原・土合中で出前授業実施。 ・入試倍率が上昇した。(募集人員が1クラス増になったが1.50倍(1.47倍))</p> <p>2. 評価シート、懇話会要旨を職員に提示し、教育活動に提言を反映させた。</p>	A
3	<p>明るく素直で真面目な生徒が多い。しかし、頭髪については染髪などが多く見受けられる状況である。服装、挨拶等も含めて品位ある生徒を育てていく必要がある。</p>	簡素・清潔・軽快を旨とする自己管理できる生徒を育成する。	<p>1. ノーチャイムの実施による時間管理を徹底する。 ・始業20分前の朝学習の実施 ・品位ある頭髪、服装指導を徹底する。</p> <p>2. 部活動や生徒会活動を通して、自主自立力を養う。</p>	<p>1. 遅刻者の数が前年比2割以上減となったか。 ・朝学習の参加率が向上したか。 ・染髪等した生徒の数が減少したか。</p> <p>2. 部活動の加入率が上がったか。また、行事等を通してリーダーが育成できたか。</p>	<p>身だしなみ等が改善し、自己管理できる生徒の育成を継続している。</p> <p>1. 遅刻者は前年比98%と微減。 ・朝学習参加者は概ね安定(1・2年は8割以上、3年は8時以前登校80名) ・全学年統一の基準で指導、染髪等は減少した</p> <p>2. 部活加入率は1年96%(87%)、2年79%(82%)、3年72%(65%)で約5%増え、学業との両立が図られた。行事全体の内容が充実、リーダー育成も前進した。</p>	A

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成26年2月22日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長による3年生全員面談、相互授業観察、授業アンケート等は、非常によい取組である。入学志願者が増える要因になっている。</li> <li>・倍率が高いということは、評価を受けている証。中高生に対する世間の目は厳しく、要望も増えている。西高に必要なものは何かを考えて、伝統として何を残していくか。逆に、何を切り捨てていくのかを考えてほしい。</li> <li>・共学であるということ、どうプラスにしていくのかを考えてほしい。</li> <li>・大学出張講座参加者が一桁の時がある。参加率の向上を。(生徒が聴きたい講座、大学を募集すればよいのではないか。)</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での交流の機会を更に増やしてほしい。障害者(埼玉県障害者福祉センター)のことを知ってほしい。西高の管弦楽部からも参加してほしい。</li> <li>・斜面林は、遊歩道も整備されているので、勉強に疲れたら、森林浴を試してみしてほしい。斜面林整備にも参加してほしい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・西高ブランドを大切にするためにも、自主自立を徹底してほしい。</li> <li>・前は、廊下を歩けば、砂がジャリジャリしていたし、教室に行けば物が散乱していたが良くなってきた。</li> <li>・生徒会として、遅刻したらアカンデーのマンネリ化の改善を考えていきたい。</li> </ul>	